

事件の概要」という報告だった。
そこに、こう書いてある。

——八月一日午後九時五十分頃、大阪市西成区東田町交差点附近を時速約四〇の軒位で南から北に向って運転進行中の富士タワシ一運転手河野も明（二九年）が、東田町八二番地先路上に運したとき、道路上に佇立していた、西成区東田町八二番地、日産柳田豊造（六二年）に接触し、同人を現場に転倒死亡させるといふ事案が発生した。

これがいわゆるカーブミラー運動のはじまりだ。このとき、クルマにひっかけられた柳田さんに対して、事故現場を目の当たりにした東田町派出所の巡査が、柳田さん運転をとらなかつたことに、事故の目撃者や、聞きつた父で集つた多勢が怒り、抗議し、そこからだんだん一騒動といふことになつて行つた。

消えさしたものは、その東田町派出所のまわりの小さな建物である。西町交差点の東南の角

資料・第一次金ヶ崎暴動

その（一）鎮圧論

（八月一日）

午後九時十五分、東田町派出所前までヤ街の住人柳田豊造さん（ホシ）がタワシ一にはねられた。「即死に近い状態」へ（警察発表）でパトカーの到着が二十分おくれたため日暮いなど住民二百人集まわく。同十一時頃派出所前二日午前四時半前後に千人を計す。タワシ一に火がつけられ、同二時東田町派出所前が炎上、暴徒と化し西成区を襲つて投石の雨。三時十

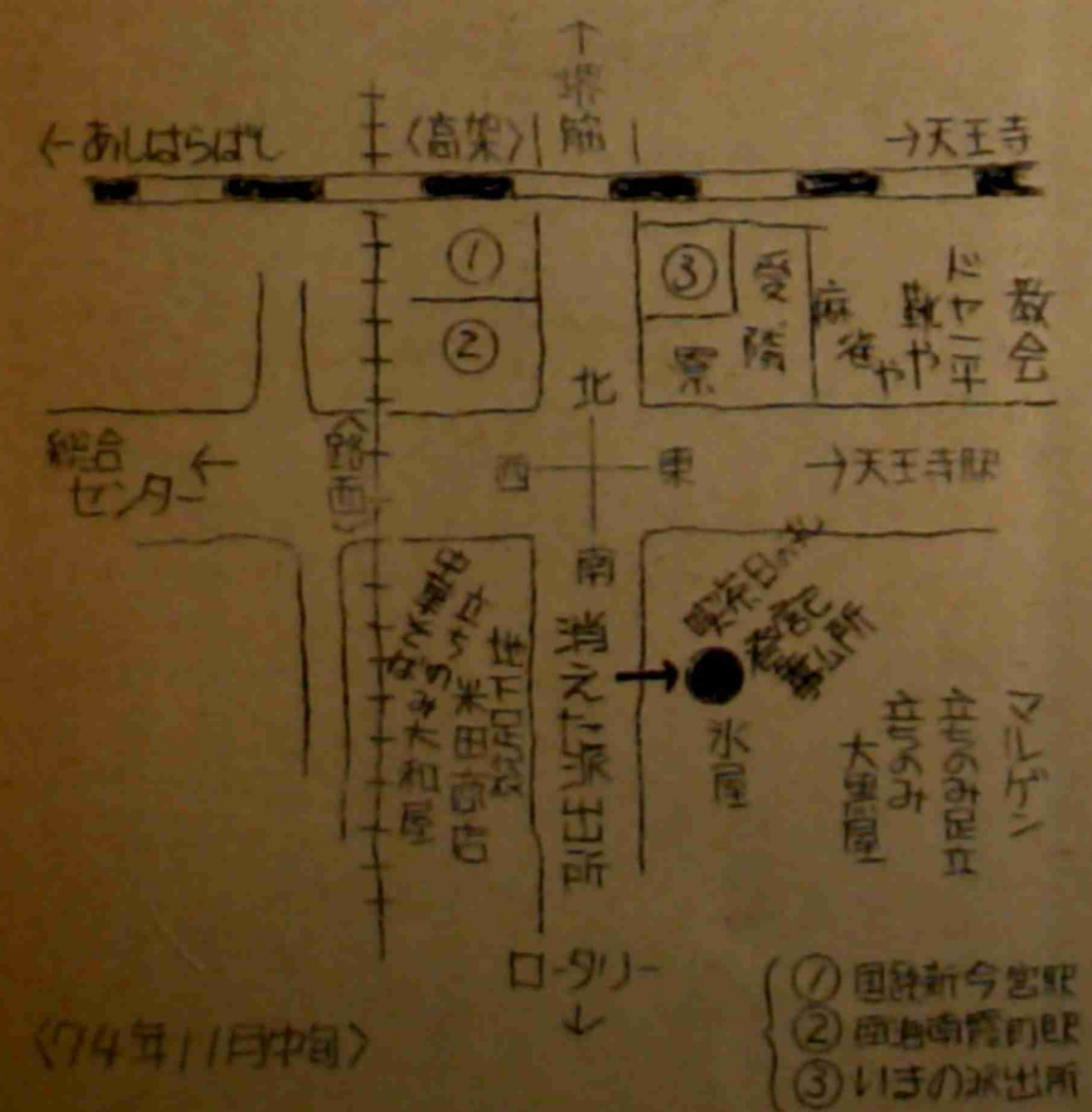
（19）

五月パトカー、機銃車も北上。前夜も朝までなし。（不詳警察隊、逮捕者三〇名、動員／色住家警官五九九／一二一名）
あの派出所は、ヤ街のまん中で、町になれはいつとも百人を計す。その夜、若者がタワシ一で、くぐるところだ。しかし道路に人が集ま、で集まっているからといふだけでは、逮捕することでも、警察として、打てるだけの手を打つた。

（18）

喫茶店の丸や、立ちのみ屋や、登記事務所や氷屋のあるところに、大竹前から東田には使わなかつたボリ・ボリ・ボリスがあつたのを、おぼえている人はたくさんいる筈だ。

この柳田さんの死からはじまつた一騒動が、金ヶ崎の労働者に一つの自覚を与えたのだから



なかだけになつてくるときだから、派出所は現在、交差点の北東の角、受降家の建地に付属して、新宮駅の裏向にある。これはもう、まるく小さくはない。

（寺）

もりだ。自動車と交通の放火はアツという向の出来事でふせぎようがなかった。(談・読二夕)

●片岡大府警刑事部長
——本来ならこんな騒ぎにならなかったはずだ。夜だったため警備体制が十分に活動できなかったのが残念だ。ものすごい投石なので一応機動隊を出動させたが効果はなかった。こんごは捜査一課が四課と協力して捜査にあたるが、火犯人や投石者を割り出すのがとても困る。はいだろわか。

●日原府警警備部長
——西成署の襲撃には三人の加害者がおのれ、着衣もわかっていて、これがつかまればその関係者から付和雷同組もわかる。世論が味方すれば騒乱罪適用も考えられる。(談・読二夕)

●奈良大府地検刑事部長
——模写者も少ないのと事件の性格から騒乱罪の適用はむずかしい。(談・読二夕)

●田村府警警備部長

とを繰り返さない平和な明るい町づくりに協力して下さい。

●春日大府府公安委員長
——むしろよくて寝にくい夜。反社会的な町の空気、騒ぎ、騒々しい心理と悪条件が重なった。こんなことになったと思うが、警備側にも交通事故の措置に手落ちがあったように。これまでの警備方針は弾力のあるもので対策にまちがいがあつたとは思わないが、西成署を大警備制にするような特別措置も検討していかなければならない。いずれにしても西成は大阪だけの問題でなく日本の恥部になつていて、現状から明るくするために根本的な解決策の発見に努めたい。(談・読二夕)

八月二日

午後七時群衆は三千人。午後十一時四十分、車二台に放火、放火後も投石が不慮。三日午前零時二十分浪速署水崎町派出所に放火して全焼。消防隊にも放火。同署水崎町派出所に投

20

——一層に機動隊の人数はそろわなかった。小人数のまま突っこんで投石の弾が大きい。警備の手落ちはない。事件は西成の特異性が唯一の原因だ。(談・読二夕)

●古寺の西成署署長
——機動隊の出動は必要なかったと思う。最後までそれとしておいて彼らの熱のさめるのをまつほうが、ほんとの。西成対策だ。警備の重中、西成の特異性、知らな過ぎる。千三百六十人の騒ぎに六十人の機動隊を先発させたのは非常に甘く見過ぎ。(談・読二夕)

●よみうり社
——警察心理もよくわきまえず、いたずらに警官隊をくり出し、催涙弾をうつたつた。警察の不手ぎわが火に油を注いだ形でもある。(談・読二夕)

●西成防犯協会八・二掲示
——区民の皆さん、八月一日の騒ぎはまことに残念なことであります。二度とこのようになら

石してこわし、東田町派出所に二回、放火。このことから地元電力団が日本刀、機関車、ばれ、警備一課が団一警官と三つともえ。逮捕者の中に中学教師がまじつていた。(不快指数88、逮捕者五〇名、動員/員警警官二六三三/二三二名)

●府警公安課
——地元の手配師山田組が、日ごろ西成の日雇人夫たちをさく取しているので派出所の火を消さうとした同組員にたいして人夫たちがうろたふを囁かしたもののうしろ。山田組のことを聞いた地元の麻婆、記者電力団が破壊したのが真相だ。警察は両方をとりしまる。(談・読三朝)

●山本大府府警本部長
——三ヶ所の派出所が襲われるなど昨夜より騒ぎは大きくなっているがどうか。客一昨夜よりひどい状況にあり、いまや警備とハッキリいえる段階にきている。問一警備対策はどうか、手ぬるいのではないか、

21

署一巡又警察官を動員して大阪府警の全力をあげて鎮圧を行なっている。警察は西成、津守区内に十六個中隊千六百人の制服警官と四百人の私服警官を配置、暴徒の鎮圧に当たっている。一方催涙弾もすでに使っている。

問一騒じ、う罪を適用する考えはないか。

答一検察庁と打ち合せ中で何ともいえない。

問一二回にわたる騒ぎは単なる烏合の衆かあるいは組織を持つ計画的な犯行かどうか。

答一完全な烏合の衆とも考えられない。ある程度先に立って行動するものがあるといっている。

問一本当に暴徒と化した群衆を鎮圧方法で鎮圧できるかどうか。

答一鎮圧できる自信はある。しかしもはや警察だけの問題ではなく、大きな社会問題となってきた。

(記者会見・談三朝)

●柏村警察庁長官

「ちよっ」としたきっかけで騒動に発展したと思うが法秩序を無視する行動は一刻も許しておけない。交通事故の取り扱いが更かっ、たとい

デモ隊相手なら強制もあり 警告する指

導者もいる話せばわかる集団だが、我らは付和雷同するけものだ。徹底的に鎮圧しようとするばできるが、見物する群衆まで巻き込み傷者が多くなるのでやれない。

(談・談三朝)

●政之茶屋敷下町会連合会代表

「石を投げられたらすぐ退却する警官をみてびびりなくなった。警察の建て物を守るのにきゅうきゅうとしてわれわれの生命財産の保護は考えられていない。」

豊ケ崎の周囲にバリケードを張り、正当な理由のないものは入れないようにすべきだ。われわれは家から出ないようにするから道をぶらついてけるものはすべて投擲するぐらいの強硬手段をとってほしい。

(西成署長との会見時の意見・談三朝)

●須崎東田町町会長

「こんどの騒ぎは警察の無力を見せつくれた。二日夜は地元の粗が暴徒になぐりこみをかけたのでなんとか私達の家が守れた。」

う非難があるが、それと事件の拡大は別個の問題である。反省すべき点は率直に認めて、この事件の鎮圧のため強力な警察力を行使したい。騒乱罪の適用については慎重に検討している。

(談・談三朝)

●住井国家公安委員長

「群衆が二、三千人も集ると警察が処理できないという印象を与えるのはよくない。一日目はとにかく、二日目にもまた同様の事件が起きるといふことは警察に対する国民の信頼感を裏切ることになるので十分な措置をとるよう警察当局に希望したい。」

(談・談三朝)

●読売新聞社説

「二晩つづきの事件に、なんら有効な鎮圧措置をとり得なかつた警察側の、腕のめけた警備体制は一任とつしたというのだろう。学生連や労働運動に示す一糸乱れぬ取り締まりと比較して、なんとも割りきれぬ感がある。」(四朝)

●機動隊隊長

「府庁に行き今夜の治安を守つてもらうための自衛隊の出動を要請するつもりだ。町内の役所までもどれしか収拾望はないといひ、警戒してくれている。」

(談・談三朝)

●今更光

「わたしは以前からこんなスラム街は日本の恥部だからとりこわしてしまえといっている。この暴動は今後もあとをひきそうだからこの限シラミどもはタンクでも出動させて周囲にちらすべきだ。」

警察に対する批判が高いようだが、以前警察

法改正法案を審議しておいていまさら手ぬるいとはいひ気なものだ。人殺しをしそうなヤツがいちも捜査令状がなければ身体検査もできない。後ろでしかけたやつはどうにもならではないか。こんなバカな法律は日本だけだ。この機会に警察法を改正すべきだ。

(談・談三朝)

●工藤良忠町連副会長

「警察が犯罪待ちで知らん顔をしていたという研究不足はおおきくない。警察幹部が、鎮圧

の決め手が無い。と弱音をばくようなことでは
情けない限りだ。

いわゆる社会学者も、政治の裏面、などと高
見の見物式なでさあい論評はおあすけにして
こんなときこそ全学連の痛恨をみきいて、体質
改善の根本策を見つづけるため警察と協力して
調査や研究をしてほしいものだ。(読三朝刊)

●小江利信国家公安委員
——どうも日本の警察は戦後を氣地がなくな
ってはいないか、重々商の事態については、もう
ハッキリとした態度を取らなければならぬ時
だ。流血の惨事が起きることは最も悲しいこと
だが、警察は自信と勇氣を持つて社会からの香
望にこたえなさい。(読・朝四朝)

●サンケイ新聞社説
——第二夜の同性質の事件を防ぎえなかつた
ことは何たる失敗か、警察に対する国民の信頼
に全くそむくものだ。国民の信頼を警察が
なぞとめえないで治安は維持できない。われ
われは、警察当局の責任を追究するとともに、
したのであります。

さいわいにして昨夜は目的達成に向かつたの
民警一団の活動が功を奏し、相当の成果をあげ得
たのであります。なおここで積極的な協力が
があればさらに格段の効果があると存せられま
す。不吉と無縁の生活から一刻も早く脱却して
豊に明るく平和な生活を送きあげるために地味
の心ある各位の御協力をぜひにお願いたします
のであります。(四午前張り出し)

●警部員高橋次長様事
——一般の善良な市民の迷惑を考えれば警察
隊の実力行使はやむを得ない。騒乱軍の運用は
ともかくとしても徹底的にやるよう指示してあ
る。協力団がさわぎに行入していることはまこ
とに遺憾だ。(読・朝四朝)

●流血の暴徒制圧 / 逆に投石、警察の雨
／ 警甲車を先陣に各所
——警察隊約五百人は警察をより上げ
かん声とともに襲いかかった。これに恐れを
なした暴徒はつもの子を散らすように逃げま

24
機動力を持った警備体制の確立を、事実をも
て国民の前に示すことを要求する。(四朝)

八月三日

警察は高岩警に転じ武力制圧をきめて六千
人を動員、京都、兵庫からも応援。この夜の
群衆は五千人、各所で市街戦のような流血さ
のきがつづき、警察隊は装甲車を先頭におそ
いかかった。四時先鋒隊が第一号を逮捕、
九時五十分、アパート、阪堺線のマクラ木に
放火したが、水で消えた。この日は商店街
で疎開するものがつづいた。ヤリがは自衛隊
をつくつて町を歩いた。群衆の負傷者は
百人を超えた。(不便指紋、逮捕者五十一名、
動員/警備警官六二九二名/二三七名)

●大阪府公安委員会公告
——本事件発生以来事態は緊急ながら漸次
化の傾向を示しつつありましたので、当委員会
深い決意のもとにあらゆる警察力を結集し、断固
たる取り締まりを行い治安の回復をはかることと

わり、一部の逃げおくれたものが戸を締め切
つた両側の商店の軒下に身をかがめているの
に警察隊はようし、なく警察の雨を降らせた。
顔から血を流してのけぞるステラコ等の男、
死んだように路上に気絶した人夫風の男、
血だらけにして放屁放屁の中身女など、
警察はさらに四方八方から暴徒をとりかこみ
くつで捕をける、倒れた男の背中を踏みつけ
る、またこわれたハイ区乗り組んで警署に
追いつめ、ようし、なくたこのめした。

(読四朝社会面)

●日警警備部長
——一部にゆきすぎた点があった。たのしみ危
が、一日二日のみかえ目な警備対策でも果敢が
おさまらない以上強い執行力を持たせたのはや
むを得なかつた。三日夜の結果を檢討したうえ
で効果があつたかわればも、と強硬な態度に
でることになろう。

(読・朝四朝)

八月四日

大阪府公署は奥羽の公署をたして地元民の協力を求めた。この府も千六百人の群衆が過ぎ、警察は先制攻撃をかけてうちつけた。警察はけりう化してきた。それでもわすれずに町に生気がよみがえり、戸をあける住民も出てきた。へ不便指数82、逮捕者七名、動員員警官六二一五名/七名)

府警警告一ラ

——警徒に対して威嚇をもつてのぞみます。家、自動車への放火は最も先例、河火をさすにけたものは同部十員……

市警署警備員

——警察は小なり衰えているが、三日間の事件を機動したとみられるを破こそぎ逮捕するまで警戒体制はゆるめない。警察がまったくまいったのか、警徒が一瞬目をひぞめたのかを見きわめるまで六千人の動員は当然続ける。

(読五報)

八月六日

所はす、かり落ちつきをとり戻した。警察官は五千人に減って、集団がトロールに重たおいた。派出所放火犯人がつかまる。



——事件は一定おさまったが、本場の解決には治安、福祉、行動問題など総合的な施策が大切だ。こんどの事件で警官五百九十八人(うち重傷十五人)死傷者三十三人、警徒を含む一人百十九人のけが人を出した。警察署が派出所の被害は六百万円、動員した警官の給食費四百五十万円(六日まで)警備に必要な装備買入れ百六十四万円、自動車の借り上げ費七十九万円、動員警官の巡回勤務費約六千万円など合計で約七千四百万円に達した。

——山王府警本部部長名報告(読ハワ)

——七百人の警官が出勤したとして、六発ずつ撃てば、四百二十発は当たる。二千人の警徒の二割が、ひっくりかえれば、みんな手をあげ

(27)

(26)

——この動員があと三日続いたあと、事態の動きや治安の進展と並行して徐々に昇降、最低一週間は大きな警戒体制がしかれる。いつまでも大勢の警官がいるのは逆効果を描く点もあるがそのひきぎわが大切。府市当局から積極的な福祉対策が打ち出される時期が一番適当でないか。

(読五報)

八月五日

市同僚者も目をあげて対策協議にのりだす。ヘリコプターで、平和をよびかけた。警士出勤はやはり六千人。夕方、夕しだりに夕日が降り、ほつとしたさわやかな空気が流れ、町のネオンも明るくなった。へ不便指数82、逮捕者二名、動員員警官六二二二名/七名)

市警署警備本部部長

——警官の健康を考えた現在の六千人を六千四百千人の両で幅を持たせた前例とする。(読六報)

るにきまつているよ、さて警察がたまたま放すのに、一分半か二分あればいいだろうから、たゞり時間を短縮、これも二時間までがエント、秩序が回復するよ

——イザリス人記者の「ユーモラスな計画」(旬週刊新潮三六、八、二二)

——犯罪にはまず手錠をかけるべきだ。神妙にさせる力を用いるのになんのはばかりがあるうか、このために、国民の意見を代表する国会は、警官に手錠を与えたのである。ところがどうやら日本の警官は明らかに現行犯であり、ほお、ておけば国に乗って、も、と重なるようにしているものに向って話しかけるにする気になる手です。で、さうとうという態度なのだ。

人道的善報が主因であるという讀者意見があまりに不思議なので、長い間日本の言論界の傾向について研究しているアメリカ人に疑問をうちあげると彼はこういって教えてくれた。『日本の讀者は犯罪その他の不愉快な事件が起ると、必ずどこからともなくその事件の発生原

因を理してきて、原因がいけないというんだ、
まあ、日本人はインテリでも立小便をやるから、
たいていの識者は、警官に怒られ、うらみを抱
っているのだ。社会学の力を借りては仕返しを
しているんだろう。

犯罪者を相手にする刑法より、社会学が社会
心理学のようなものを治癒だと考えているので
犯人捜しよりも原因探しをだつて、社会学者と
しての立場を強く印象づけておく必要もあるの
だろう。警官にしても、刑法の執行者としてこの
使命より、社会学を認れているのではなからう
か。刑法をバカにする心こそこわい、とわたし
はいう。

——ヤン・デスマンSPI特派員
『週刊新潮』三六・八、二一

投稿かんげい！ ただし、採否は当編集委員会にまかせて下さい。

『新報新報』 創刊号 1974年12月8日（創刊記念日）発行
〈はんしゅう・はっこう〉 『新報新報』編集委員会 定価50円
〈れんらくさき〉 〒557-91 大阪西成郵便局私書箱31号 中後誠付